

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年 10 月 8日

事業所名 ぼくらカンパニー博多

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		つい立付き学習机やパーティション等で構造化をしている	音の過敏さを持ったお子さんに個室使用を促す
	2	職員の配置数は適切である	○		シフトにて確認している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		階段がある為肢体不自由の方は難しい
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		スタッフ全員とミーティングをしている	新人職員にも繰り返し目に触れるように「指導員心得」を展示する
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		伝わっていること、いない事を再確認している	集まりに参加されない、もしくは回答がない保護者さまのご意向を知りたい
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価は取り入れていないが関係機関との連携の中で振り返り改善している
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修内容を社内で勉強会を設けている	外部研修形態がリモートが多くなり複数参加が難しくなっている。その分社内研修でカバーしたいところ。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		話しやすい雰囲気と守秘義務を履行することで信頼を得る努力をしている	行動や生活、情緒、学習等に分けたアセスメントをとっているが、出来れば全ケースにおいて医療機関の検査結果を共有できればより良い内容に近づく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			標準化された内容をもとに個別の記述式を使用しているが、別の書式も検討中
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフの得意分野でアイデアを出し合っている	感覚統合の遊びを意識して取り入れたい
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		ご予約表でどんなことが行われる予定なのか告知している	個別特性及び年代別の活動をもっと精査したい
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		利用者さんのご意見ご希望を取り入れている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			特性によっては個別課題重視にならざるを得ない方もいるが集団活動の内容を精査したい
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			平日は出来ているが、長期休みの時のミーティングをもっと確保したい
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			終了後は送迎業務もあるのでスタッフが全員揃うことが難しい、その分開始前に共有時間を設けているが、時短勤務の職員への伝え方に工夫が必要
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		複数人で気付きと事実を工夫している	記録の量は十分にとっていると思われる。内容については定期的な研修を行いたい
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		指導員も含め皆で考えている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			活動は基本活動を意識して行っているが、活動自体に参加できない情緒的な問題も加味しながら更なる工夫の余地あり

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管が出ている。同席できるときは担当指導員で会議に出席している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	学校担任等連携し時間割等の確認をしている		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		医療的ケアの必要なご利用者さまは現在いない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		保護者さまの承諾を得てしている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		卒業前の担当者会議で行う	同意があれば福祉事業所へ同行し説明をしようとする
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		関係機関と情報交換している	時短勤務職員の外部研修時間の確保が課題
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		この項目については望まない保護者さまや利用者さまがいてあえて設けていない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		地域の要支援児童はSSWを通じたり基幹相談センターと連携支援をしている	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡報告は常に行っている	提案が一方的にならないよう保護者さまや利用者さまのご様子をお伝えしている
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			ペアトレでいえば、多種多様なところで行われ、保護者様も参加されていることから、個々の家庭課題のアドバイスに重きを置いている	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			継続して丁寧な説明を心掛ける
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			面談のみならず電話やメールでも行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		ママカフェと称した集まりを行い、保護者さま同士のつながりを意識している	集まりのご案内を「保護者会」とすべきか検討中
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		直ぐに管理者に報告するように体制を整えている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		会報誌、連絡帳、予定表、個別連絡等でお伝えしている	引き続き行いたい
	35	個人情報に十分注意している	○		保護者さまと職員に同意書をいただいている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		イラストや写真、事前ルール説明等で見通しを付けている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		商業地区だが出来る限り配慮している	コロナ禍で気軽に招待して良いものなのか考えるが、可能な限り行っている

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			契約時にご説明しているが、コンパクトにまとめたものを再配布する
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回行っている本年度は防災センターのツアーにも参加している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修を行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に説明を行っている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	間違いがないようにアレルギー注意事項を張り出している	現在アレルギーの件で医師の指示書が必要なお子さんはいない保護者さまの聞き取りで行っている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハットのフォーマット用紙をスタッフ全員が目につくところに置きたい